



9月25日 ル・マルシェ

最高の鰹節を あなたの手で

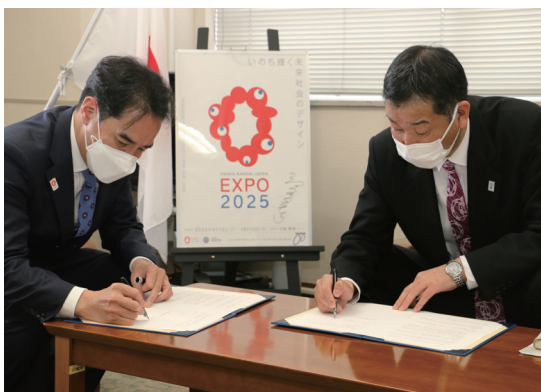
鰹節と金物、2大産地による
初コラが商品 試作品が完成！

兵庫県三木市 播州三木打刃物 常三郎 × 鹿児島県指宿市 指宿鰹節 山川水産加工業協同組合

播州三木打刃物×指宿鰹節



金物鷲



3月17日 包括連携協定締結

た日本酒などを紹介しました。
参加した事業者からは、フランス総領事をはじめさまざまな方に三木市を知っていただくと同時に、製造技術に対する感激の声をいただいたと聞いています。三木市にとって貴重な機会となりました。ありがとうございました。

連携により、今後どのような効果が期待されるでしょうか

伊吹局長 経産局では地域ブランドエコシステムの構築に向けた12ブランドの支援を進めています。三木市は特に、地域と一体となり地域に人を呼び込む取組に熱心に取り組まれている印象で、そういった分野でめざせ三木市となるような先導役になっていただくことを期待しています。

また、兵庫県は三木市のほかにも3つの地域資源が12ブランドに

に、製造技術に対する感激の声をいただいたと聞いています。三木市にとって貴重な機会となりました。ありがとうございました。

仲田市長 局長の期待にこたえられるように頑張ります。

私の期待はまず、派遣した職員が視野を広く持つて三木市の将来を担う職員になってもらいたいことが1点、万博に向けて12ブランドといかに連携していくかということが2点目です。

12ブランドではありませんが、九州経済産業局から近畿経済産業局へ、鹿児島県指宿市の世界一固い鰹節を削る道具はないかと紹介いただき、市内の鰹製造業者とつながることができました。金物のまち三木を全国にPRできる良い機会になりました。

また、万博で言えば、以前の大阪万博では金物鷲を展示しました。次の万博では、越前市に「昇龍」という金物を組み立てた龍があるという情報をいただいたので、経産局の力を借りながらぜひ「龍」と「鷲」の展示を実現させたいと考えています。

※1 12の地域ブランド

近畿経済産業局は万博を視野に12の地域ブランドを選定し、その支援を行っています。

①三木の酒米等(三木市)②鯖江のめがね(福井県)③信楽焼(滋賀県)④丹後織物(京都府)⑤和束茶(京都府)⑥泉州タオル(大阪府)⑦播州織(西脇市ほか)⑧丹波篠山の黒大豆等(丹波篠山市)⑨淡路島の食と香(淡路島3市)⑩奈良酒(奈良県)⑪広陵くつした(奈良県)⑫和歌山ニット(和歌山県)

※2 ル・マルシェ特別版

京都のアンスティチュ・フランセ関西で毎月1回日曜(不定期)に開催されるマルシェ(朝市)の特別版として、在京都フランス総領事館と近畿経産局の共催で開催しました。

2025年大阪・関西万博に向けた 三木市の地方創生



三木市長

仲田一彦

問 (市)縁結び課



近畿経済産業局長

伊吹英明

三木市は経済産業省近畿経済産業局(以後、経産局)とともに市の地方創生を推進するため、令和4年3月17日に包括連携協定を締結しました。これにより2025年大阪・関西万博(以後、万博)を機に三木市を日本全国や海外にPRすることや三木ブランドの向上をめざしています。今回、伊吹近畿経済産業局長と仲田三木市長が三木市の地方創生の推進への想いについて語り合いました。

連携協定を締結した経緯と目的を教えてください

伊吹局長 経産局が自治体と連携協定を締結するのは三木市が2例目です。三木市とは協定前から三木市創生計画策定検証委員会に経産局の職員が委員として参画し意見交換をしていました。

経産局では万博開催を契機ととらえ、近畿地方の地域ブランドの知名度向上や市場開拓、インバウンド(訪日外国人旅行などの獲得に向けた取組を集中的、一体的に支援するため、三木市を含む12の地域ブランド※1(以後、12ブランド)を選定しました。

加えて、個別の企業への支援なども進めたいという思いから三木市と連携協定を締結することになりました。

仲田市長 経産局には以前から関わっていただいていたましたが、三木市としても市内経済の活性化に加え、万博を活用した地域資源の情報発信を考えており連携協定を締結しました。今年4月から万博を見据え、国とのネットワーク構築、地域人材の育成支援として若手職員1名を経産局へ派遣しています。国の施策や方向性などをスピーディーに的確に知ることができようになりました。

9月には在京都フランス総領事館で開催されたル・マルシェ特別版※2を紹介いただきました。三木市の地域ブランドに関係する事業者が参加し、在日領事の方々に、三木金物や三木市産山田錦を使っ



今後はどのような取組みを考えていますか

伊吹局長

万博には2820万人が来場するといわれており、そのうち外国人は約350万人と見込まれています。万博に来られる人を地元呼び込むためには、観光などのコースをきっちりとつくることが重要だと思います。三木市とは金物製造などのものづくり体験や酒米の山田錦収穫体験、酒蔵見学など、観光コースと一緒に作っていききたいです。

仲田市長

観光コースでは、兵庫の4つのブランドが連携し、例えば、万博に来られた方が翌日に、淡路島で食と香りを楽しんだあ



6月17日 山田錦田植え体験

と、三木市で金物体験をし、その後、西脇市で織物体験、丹波篠山市で農業体験ができるのではないかと考えます。また、三木市ではゴルフ体験や三木ホースランドパークでの乗馬体験もできます。

兵庫県の齋藤知事は兵庫県内の地場産業や伝統工芸などを現地で体験するひょうごフィールドパビリオン^{※3}として県全域を野外展示場に見立てた取り組みを考えておられます。かつて知事は、三木市で地域資源や人と触れる経験があったことから、ひょうごフィールドパビリオン募集の記者会見を

ます。助言するのではなく、あくまで経営者の、会社をこうしたいという想いを一緒に考えていくものです。

仲田市長

三木市では地域未来牽引企業^{※5}として、4社が選定されています。三木市の地域経済の担い手となる事業者ばかりですので、今後も支援をお願いします。

また、市職員にはいろいろな経験を積んだ民間出身者が多くいます。さまざまな視点を取り入れながら、三木市としても企業支援を進めていきたいと考えています。

伊吹局長

連携協定を締結してすぐに成果を出すことは難しいです。三木市とは意見交換する機会

も多くありますので、定期的に進捗を確認しながら進めていきたいです。1年後に再度対話し進捗共有できるといいですね。

みなさまへメッセージ

伊吹局長

経産局として自治体と連携協定を締結するのは2例目で、良い成果をあげて経産局と連携してよかったなと三木市民のみなさまに思ってもらいたい。ぜひ一緒に頑張つて良い成果を出したいです。

仲田市長

経産局と連携し、万博で三木市の地域資源を日本全国や海外の人々に広く知っていただきたい。今後も誇りをもって暮らせるまちづくりを進めていきます。



RESAS (地域経済分析システム)

三木市で行っていただきました。さまざまな知見やネットワークを持つ経産局の知恵を借りて、多くの方に兵庫県に来てもらえるような仕組みが作れたらと考えています。

話は変わりますが、今年度、経産局の職員に講師として来ていただいたRESAS^{※4}を使った政策立案研修や、三木若者ミーティングに参加しました。今後も経産局と一緒に三木市の地方創生を進めていきたいと思っています。

伊吹局長

ブランド支援を進めつつ、個別企業への支援でも連携を進めていきたいです。経産局では、会社をより良くしたいと考える経営者に対する伴走支援を行っている

経産局へ出向中の若手職員 にお話を聞きました

Q1: 今はおどのようなお仕事をしていますか?

A1: 現在、経産局では12の地域ブランドを支援しており、その中で「三木の酒米等」の主担当、「淡路島の食と香り」と「奈良酒」の副担当として、万博やその先に向けて世界に羽ばたけるブランドとなるよう取り組んでいます。

ル・マルシェでは地域の方だけでなく、フランスへの販路を持つバイヤーなどもお越しいただき、ビジネスチャンスの拡大に寄与できました。

また、伴走支援として三木市と和歌山県の企業を1社ずつ担当しています。社長へのヒアリングなどを通じて企業の経営課題の本質を見極め、企業と共にそれらの解決に向けて取り組んでいます。

Q2: 出向して感じていることは?

A2: 万博をチャンスと捉え三木市を広くPRするために出向するこ



令和4年度三木若者ミーティング

※3 ひょうごフィールドパビリオン
万博を訪れる観光客に兵庫県内の活動現場を見て・触れて・体験してもらう野外展示場。

※4 RESAS(リソース)

地方自治体の取り組みを情報面から支援するために、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局と経済産業省が提供する地域経済分析システム。

※5 地域未来牽引企業

地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれ、地域経済のバリューチェーン(価値連鎖)の中心的な担い手や担い手となりうるとして経済産業省が選定した企業。



初めての一人暮らしなので、おいしい料理が作れるようになることもひそかな目標です。

(市)総合政策部
縁結び課主事
岡島康秀

とになりました。周りには能力が非常に高い方が多く、自信を失いかけるときもありますが、この出向を自身の成長につなげられるよう、頑張っています。

Q3: 今後の目標や想いは?

A3: ここで得た経験、知識、人脈などを三木市へ共有することは、出向という貴重な経験を与えられた職員としての役目であると思っています。万博やその先を見据え、国と市をより密接につなぐこと、地域創生の実現に貢献すること、このたびの出向での経験で自身が成長することが目標です。